

第5回アジア腹部放射線学会（ACAR 2015）出張報告

吉廻 毅

2015年6月19日から21日まで浜松市、Act City 浜松で開催されたACAR2015に参加しました。ACARはアジア放射線学会（ASAR）主催の腹部放射線学会で2年に一度、アジアの各地で開催されます。宮崎、ソウル、北京、台北の順に開催され、今回、再度、日本で開催されました。今回は、第29回日本腹部放射線学会も合同開催されました。

当科の森博史先生に、腎盂癌のMR病期診断における経験年数の差が拡散強調画像の利用で、どう変化するかとの内容で『The effectiveness of diffusion-weighted MR images in the staging of preoperative T categorization in renal pelvic carcinoma』の題名で発表していただきました。セッション4演題のうち、2演題がwithdrawで演者が不在。予定が狂い、質疑応答時間もかなり長くなりましたが、森先生は何とかがんばってくれました。

学会はACARのscientific presentation sessionと日本腹部放射線学会のcase presentation sessionがほどよく混和され、それなりに緊張感をもって拝聴することができました。また、内容、modalityも様々で、国際学会を体感できました。

今回、初めて浜松市を訪れました。建物が多く、道も広く、交通の便も良く、都会と感じました。しかし、人通りが少なく、気候も温暖そうで、住みやすそうな印象を受けました。また、関東炊き（？）の鰻重は、山陰のそれとは違い、柔らかく味も濃厚で非常に旨かったです。

次回は2017年に韓国、釜山で開催予定です。

